

# メタバース思考

東大教授が情報化の未来社会における「こころ」と「からだ」のあり方を語る

**日時** 令和6年10月31日(木)  
午後1時～午後3時(開場は正午)  
**会場** 取手ウェルネスプラザ  
(多目的ホール)  
**定員** 先着400名様  
(令和6年10月23日(水)応募締切り)



稲見昌彦氏

東京大学 総長特任補佐・先端科学技術  
研究センター 副所長／教授

— 著書 —

『スーパーヒューマン誕生！人間はSFを超える』（NHK出版新書）、『自在化身体論』（NTS）他。

**受講無料**

現在我々はSociety4.0とも位置付けられる情報化社会に生きている。情報化とは脱物質化・脱身体化とも換言でき、情報化により様々なサービスやビジネスが生まれた。今回のコロナ禍で、大学や企業において講義や会議を辛うじて行うことができたのも情報化の貢献といえる。しかし、現状の遠隔会議システム等を介したコミュニケーションにおける身体性の喪失により、諸問題が顕在化しつつある。遠隔存在技術やアバター技術、触覚技術などは情報化社会に身体性を取り戻す試みであり、本講義ではポスト身体社会における多様な身体性を扱うための研究「自在化身体」について紹介するとともに、Society5.0における「こころ」と「からだ」の新たな関係を展望する。

## 申込方法



### WEBからの方

右の二次元コードを  
読み込んでください

(いばらき電子申請・届出サービス)



### 郵送で応募の方

往復はがき往信面に、講座名・代表者を含む5人までの氏名・代表者の住所・電話番号、返信面にご自身の宛先を明記してください。

〒300-1592 取手市藤代700番地  
生涯学習課 市民大学東京大学EMP特別講座  
「メタバース思考」係宛て